

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2001-276040 (P2001-276040A)  
【公開日】平成 13 年 10 月 9 日 (2001.10.9)  
【出願番号】特願 2000-100501 (P2000-100501)  
【国際特許分類】

**A 6 1 B 6/03 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 3 0 B

【手続補正書】  
【提出日】平成 19 年 4 月 2 日 (2007.4.2)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項 1】被検体に X 線を照射する X 線源と、前記被検体を透過した X 線量を検出する X 線検出器と、前記 X 線源と前記 X 線検出器を前記被検体の周囲で回転させるスキャナと、前記被検体を載せるとともに前記被検体の体軸方向に移動するテーブルと、前記透過 X 線量に基づき前記被検体の断層像を再構成する手段と、前記断層像を表示する手段を備えた X 線 CT 装置において、

前記被検体に関する前記スキャナの回転角度と X 線透過長との関係を示すモデルを生成する手段と、

前記モデルに基づきスキャナの回転角度毎の X 線管電流を設定する手段と、

前記設定管電流を X 線源に与えて前記被検体に照射する X 線量を制御する手段と、をさらに備えたことを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 2】請求項 1 の X 線 CT 装置において、

前記モデルを格納する記憶手段をさらに備えたことを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 3】請求項 1 の X 線 CT において、

前記モデル生成手段は、前記被検体に対して一方向からのスキャノグラム撮影を行って得たスキャノグラム画像データから前記モデルを生成することを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 4】請求項 1 の X 線 CT 装置において、

前記モデル生成手段は、前記被検体に対して一方向からのスキャノグラム撮影を行って得たスキャノグラム画像データから、体軸位置と前記スキャナの回転角度と X 線透過長との関係を示す 3 次元モデルを作成することを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 5】請求項 1 の X 線 CT 装置において、

前記モデル生成手段は、前記被検体に対して予備撮影 CT ヘリカルスキャンを行って得た予備撮影 CT 投影データから体軸位置と前記スキャナの回転角度と X 線透過長との関係を示す 3 次元モデルを作成することを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 6】前記モデルは、均質な材質であって生体に近い材質換算の透過長モデルとする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 つに記載の X 線 CT 装置。